

富士フィルムオプトマテリアルズ株式会社向け天然ガスコージェネレーション設備の営業運転開始について ～天然ガスはパイプラインにより供給～

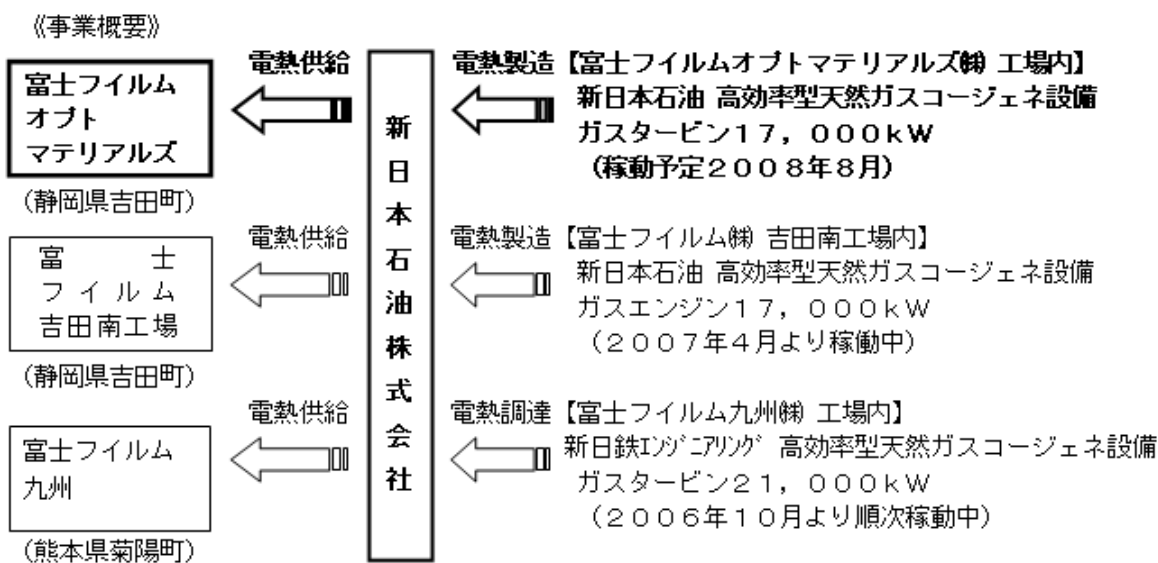
記者各位

当社(社長:西尾進路)は、富士フィルムオプトマテリアルズ株式会社向けの高効率型天然ガスコージェネレーション設備※1の営業運転を、8月1日より開始いたしますので、お知らせいたします。

同社へのエネルギー供給は、国内最大級のBOO事業※2として、LNG(液化天然ガス)の調達から、高効率型天然ガスコージェネレーション設備などの設置・運転・管理まで、当社が全面的に行います。使用する天然ガスは、昨年4月に富士フィルム株式会社吉田南工場に隣接して当社が設置したLNGサテライトタンクから、新たに敷設した天然ガスパイプラインによって供給いたします。

今回の富士フィルムオプトマテリアルズ株式会社向け設備稼働により、2005年6月20日に富士フィルム株式会社と共同で発表いたしました、富士フィルムグループ3生産拠点(富士フィルムオプトマテリアルズ株式会社、富士フィルム株式会社吉田南工場、富士フィルム九州株式会社)への天然ガスコージェネによるエネルギー供給体制(3拠点計・全稼働時55,000kW※3)が確立されることとなります。

当社は、グループ理念に「Your Choice of Energy」を掲げる「総合エネルギー企業」として、今後ともお客さまの様々なニーズに対応すべく多様なエネルギービジネスを育成・推進してまいります。



以上

※1 天然ガスを燃料として発電効率の高いガスエンジンやガスタービンにより発電を行ない、その際に発生する排熱を蒸気や温水などで回収し、有効利用する熱電併給システムのこと。

※2 「Build Own Operate」の略で、通常のオンサイト事業とは異なり、運転管理まで事業者が実施するオンサイト事業のこと。

※3 2005年6月20日発表時は、富士オプトマテリアルズ向け能力を30,000kWと見込んでいたため、合計で68,000kWであったが、その後、同社との検討の結果、能力を17,000kWに見直し、合計で55,000kWとなった。